

●講師お名前

松野 明美 (まつの・あけみ)

●肩書き

元オリンピックランナー、タレント、参議院議員

●プロフィール



1968年、熊本県生まれ。

駆け足が遅く、いじめられっ子でおとなしい性格だったが、小学校5年生のときに出場した町内陸上大会で優勝。

1位でゴールしたときの両親の笑顔がうれしくて、マラソンに目覚め、「いちばんを目指す人生」が始まる。

高校卒業後、ニコニコドーに入社し、陸上部に所属。

1987年、全日本実業団対抗女子駅伝に初出場し、12人をごぼう抜きする。これにより一躍注目のランナーとなる。

1988年、ソウルオリンピック1万メートル競技に出場。

人の2倍、3倍、それでもだめなら4倍の猛練習をし、数々の記録を残す。

引退後、結婚し、2002年、長男・輝仁(きらと)が誕生。

翌年、次男・健太郎がダウン症という障がいを持って生まれる。

「明るく元気な松野明美」のイメージが崩れてはいけないと健太郎を一生隠そうと決心するが、日々の成長や笑顔が、著者の心を少しずつ変化させる。

健太郎の子育てを通じて、

「人生は人との競争じゃない、いちばんじゃなくてもいい」と気づかされる。

現在は、自身のマラソンや子育ての経験をもとに、

講演、タレント、ゲストランナーなど幅広く活動をする。

著書に『いちばんじゃなくて、いいんだね。』(アスコム刊)がある。

松野明美 公式サイト <http://www.matsunoakemi.net>